

平成31年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 051

千葉県立松戸六実高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

本校を特に強く志望し、動機及び理由が適切で、本校に適応する学力及び適性を有し、次のア、イのいずれかの項目に該当する者

ア 学習意欲に溢れ、入学後も積極的に学習や特別活動に取り組む意志を持っていること。

イ 部活動等で優れた実績または素質を有し、入学後も継続して活動する強い意志があること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	評価者2名の個人面接 検査時間：2分
(4) 自己表現	次のア、イのいずれかを、出願時に志願者が選択 ア 口頭による自己表現 日本語による2分間スピーチ 実施形態：個人で発表 検査時間：2分 イ 実技による自己表現 次の部活動実技のうち1つを選択 バドミントン(男女)・卓球(女)・バスケットボール(男女)・剣道(男女)・ソフトテニス(男女)・野球(男)・サッカー(男)・陸上競技(男女)・硬式テニス(女)・吹奏楽(男女)・書道(男女) 実施形態：個人で発表(ただし、団体種目は、複数人数で実施) 検査時間：20～30分程度(種目により異なる)

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書 アの数値に、ウについて加点(上限15点)したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。
イ 出欠の記録	3ヶ年皆勤の場合、総合的に判定する際の参考とする。 各学年において10日以上欠席がある場合は審議の対象とする。
ウ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動・生徒会活動・学校行事・部活動・検定・その他の活動について、積極的に取り組んだ内容を本校の基準により数値化し、加点する。

(3) 面接 [30点満点]

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の3段階で評価する。aを5点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価(各15点満点)を合計し、得点化する。評価cが3つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機・意欲	志望の動機や高校生活に対する目標、意識が明確である。
イ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 中学校時代に頑張ったこと等について明確に回答することができる。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。

ウ 身だしなみ・態度	服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 基本的な面接作法が身に付いている。
------------	---

(4) 自己表現 [120点満点]

次のア、イについて、それぞれ2名の評価者が、3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、
a (優れている)・b (標準的である)・c (問題がある) の3段階で評価する。

aを20点、bを10点、cを5点とし、2名の評価者の評価(各60点満点)を合計し、得点化する。評価cが3つ以上ある場合は、審議の対象とする。

ア 口頭による自己表現(日本語による自己アピール)

評価項目	評価基準
(ア) 意欲・態度	発表に積極的・意欲的に取り組んでいる。 発表における態度が適切である。
(イ) テーマ・内容	発表テーマの設定が適切である。 発表内容が整理されており、まとまっている。 発表内容が自らの体験等に基づいており、説得力がある。
(ウ) スピーチの能力	発表におけるスピーチの基礎的技能を身に付けている。 表現力豊かに、分かりやすく発表を行うことができる。

イ 実技による自己表現(部活動実技)

評価項目	評価基準
(ア) 意欲・態度	当該種目に積極的・意欲的に取り組んでいる。
(イ) 基礎的技能	当該種目における基礎的技能を身に付けている。
(ウ) 専門的技能	当該種目における専門的技能を身に付けている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査(面接・自己表現)の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

(総得点の満点の内訳)

学力検査 の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点		総得点
	評定(算式1)	加点	面接	自己表現	
500点	(135 + α - m)点	15点	30点	120点	(800 + α - m)点

(算式1) α : 県が定める評定合計の標準値95

m : 中学校評定合計平均値

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

イ 入学許可候補者に内定した者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による内定者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面談を行う。